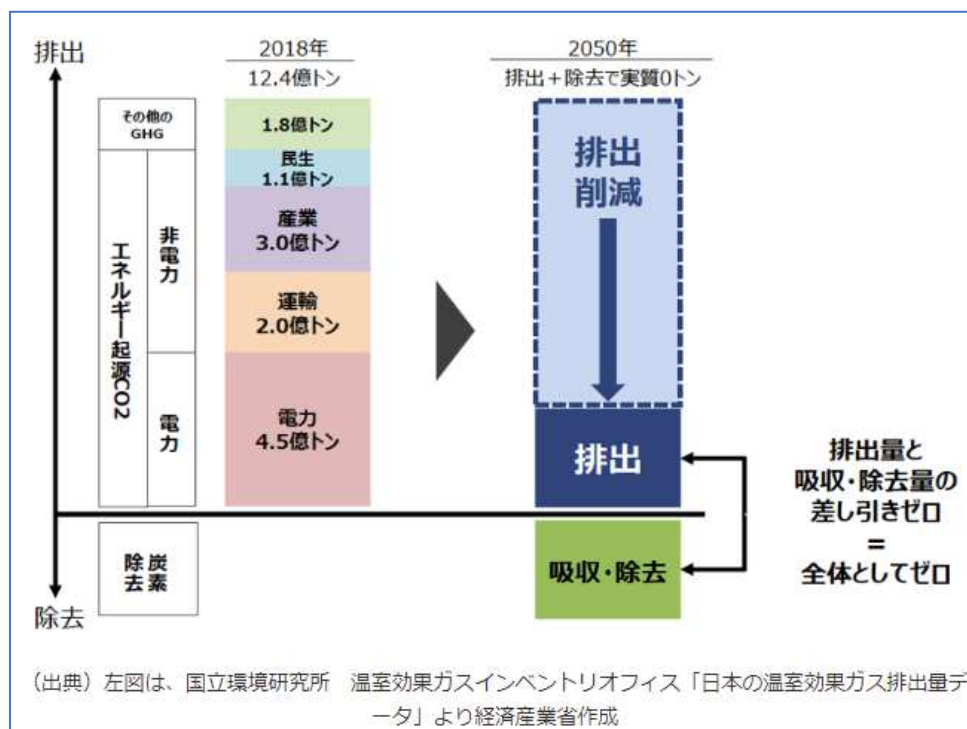


6. 解説「関連データ・用語・仕組み」：カーボンニュートラルとは

「カーボンニュートラル(carbon neutral):炭素中立」とは、ライフサイクル全体で見たときに、二酸化炭素(CO2)の排出量と吸収量とがプラスマイナスゼロの状態になることを指す。環境省によると「削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減・吸収量等を購入すること又は他の場所で排出削減・吸収を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部を埋め合わせた状態」を指す。

そして、2020年10月の菅総理の所信表明演説において、「我が国は、2050年までに、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、すなわち **2050年カーボンニュートラル**、脱炭素社会の実現を目指すことを、ここに宣言いたします」と日本の目標が示された。日本が目指す「カーボンニュートラル」は、CO2だけに限らず、メタン、N2O(一酸化二窒素)、フロンガスを含む「温室効果ガス」を対象にすると述べている。



出典:「カーボンニュートラル」って何ですか？(前編)～いつ、誰が実現するの？ 2021-02-16 資源エネルギー庁 https://www.enecho.meti.go.jp/about/special/johoteikyo/carbon_neutral_01.html

関連資料:2021年環境行政の主な課題について -2050年カーボンニュートラルへの取組と新たな循環法の制定- 参議院事務局企画調整室 2021-2-19 <https://bit.ly/3qBXAc1>

この目標の達成に向けて、象徴的事例として、自動車のEV化が不可避とされているが、それでは「日本ではクルマがつくれなくなる」※との声もある。石炭火力発電、原子力発電、自然エネルギー発電等の抜本的なあり方を含めたタブーのない電源構成の議論が避けられない。地球の気候変動は地球の歴史的スパンでの科学的議論・検証が必要であり、クールな対応が問われている。

出典:日本のカーボンニュートラルを考える 自工会・豊田会長が語った事実 T2021.01.08 UPDATE トヨタイズム <https://toyotatimes.jp/insidetoyota/111.html>